

北播磨地域 景観資源データベース【複数市町】

景観資源の名称	景観資源の内容	ふるさと兵庫を構成する主要な景観※1				所在地	百選等の実績	景観シート※2
		①	②	③	④			
水口祭り(稲作儀礼)	水口祭りは、種籾を苗代に撒いた時に行う稲作儀礼で、4月中旬から5月初旬にかけて行われた。苗代田の水口に、土を盛ったり芝を置いたりして、山から採ってきた季節の花や木の枝、正月に村の寺社でいただいたゴウツエなどを立てて祀る。一般には苗代祝いなどとも呼ばれる。 (出典:ふるさとの原像(神戸新聞総合出版センター発行 2012.4.20))				●	複数市町		
テントバナ(行事)	テントバナは、種下ろしをする季節に行われる行事で、山から下りてくる山の神、すなわち田の神の依り代とされる。兵庫県下に広く分布し、タカバナ、夏バナ、八日バナなどと呼ばれた。旧暦4月8日、月遅れで5月8日を「卯月八日」といい、ウツギ・ツツジなどの花を束にして長い竿の先に取り付け、庭先に立てたり門口に挿したりする風習がある。 (出典:ふるさとの原像(神戸新聞総合出版センター発行 2012.4.20))				●	複数市町		
加古川上流(丹波～播磨の歴史川街道)	1級河川である加古川は、延長が112kmあり、北播磨地域を南北に貫くように流れ、地域の生活を支えてきた。加東市の滝野には、上流に荒々しい名勝・闘龍灘がある。昔から流れに跳ぶアユを下に敷いた竹簀でとる漁法で知られ、戦前までは川面に納涼屋台船が繰り出しにぎわった。小野市で東条川と合流するが、近くの河合中町、新宮神社前に秀吉の「太閤渡し」場が残る。三木城攻めの際、地元船頭の助けで、兵馬と共に渡ったらしい。地域の歴史とともに、様々な文化を形成し、固有の景観を呈する河川である。 (出典:ふるさとの川紀行(神戸新聞総合出版センター発行))	●			●	複数市町		
東条川が育む水のシンフォニー	東条川は、もともと捨鹿(はしか)川と呼ばれた。古来、物産豊かな交通の要所として栄えたとされる。加古川本流との合流点、小野市喜多町から上流の古川、久保木、菅田町辺りまでは、水田地帯をゆっくり南北に蛇行し、船木、小田町に入ると急カーブで曲がりくねる。東条に入る厚利から岡本までの川底では鉱泉が湧出し、明治期には鉱泉宿もあったという。現在は公営の東条温泉とどろき荘が営業している。東条ダムは国営東条川農業水利事業として17年をかけて建設された。これによって加東市、小野市、三木市の計3,183haの水田が水不足と干ばつから救われることになった。東条川用水については、日本疏水100選にも選ばれ、東条川疏水として活用が図られている。鴨川ダム、船木池、曾根サイフォン、円筒分水など魅力ある施設がある。 (出典:ふるさとの川紀行(神戸新聞総合出版センター発行))	●	●		●	複数市町(加東市・小野市)	日本疏水100選	
山田錦	北播磨一帯では、明治末期から大正にかけて酒米品種「山田穂」が栽培されていた。これは味のある大粒種だったが茎が長くて倒伏しやすく収量も比較的少なかった。そこで、大正末期から県立農事試験場で、この「山田穂」と「短稈渡船(たんかんわたりぶね)」という酒米品種との人工交配による品種改良事業が行われ、昭和11年(1936)に今の「山田錦」が奨励品種に指定され、酒米のエースとしてデビューした。 山田錦は現在でも最高の酒造好適米である。また山間部で朝夕は冷え込み、日中は気温が高い一日の気温の変化が大きい場所で粘土質の田が適している。 多可町の石原坂トンネル出口には、「山田錦」誕生のきっかけをつくったと伝えられる山田勢三郎翁を讃える「頌徳碑」や、山田錦が稲穂のたれる様子を表したモニュメント・「山田錦発祥の地」の碑が建てられており、地域のシンボルとなっている。 (出典:三木市HP、ハートにぐっと北播磨HP)	●	●		●	複数市町		●

※1:①豊かな自然景観 ②自然・緑あふれる農山村景観 ③表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ④地域固有の文化的景観

※2:●印は景観シート有り。○印は関連する景観シートへの掲載を意味する。

北播磨地域 景観資源データベース【複数市町】

景観資源の名称	景観資源の内容	ふるさと兵庫を構成する主要な景観※1				所在地	百選等の実績	景観シート※2
		①	②	③	④			
小野・社台地	<p>小野・社台地の最高地点は、三木市高畑のすぐ東側にあたり、高度は170mである。その付近から東には大阪層群の堆積面が続いている。この堆積面は、長く続いた堆積が、この高度で終わったことを示している。</p> <p>段丘面は東条川を挟んで北側の社、南側の小野の両台地ともに二十数段ある。高所では南北方向に水平であるが、加古川の河床に近い新しい段丘は川と同様の傾きで続いており、この地域の景観のベースとなる特徴的な地形を形成している。</p> <p>(出典:兵庫の地理(神戸新聞総合出版センター発行 2007.12.10))</p>	●				複数市町(三木市・小野市)		
青野ヶ原演習場	<p>青野ヶ原演習場は、加古川西岸に広がる広大な青野原台地のほぼ中央に位置しており、小野市、加西市、加東市にまたがって646.6haもの広さを持つ自衛隊の演習場であり、敷地内にはミサイル基地などが設置されている。</p> <p>(出典:兵庫歴史散歩(歴史散歩刊行会発行))</p>	●				複数市町(小野市・加西市・加東市(滝野町))		

※1:①豊かな自然景観 ②自然・緑あふれる農山村景観 ③表情豊かな市街地景観と受け継がれる歴史的景観 ④地域固有の文化的景観

※2:●印は景観シート有り。○印は関連する景観シートへの掲載を意味する。